

| | | | |
|----|----|----|------|
| 教科 | 音楽 | 学年 | 第1学年 |
|----|----|----|------|

| 単元名 | 時数 | 単元の到達目標(小単元のねらい) | 単元のまとまりの評価規準 | | |
|---|----|--|--|---|--|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 歌詞の内容や曲想を生かした表現 ●校歌、楽典 ●混声合唱の導入と基本 ●アルトリコーダーの導入と基本 ●指揮法の導入と基本 | 16 | 表現するための基礎的な技能や奏法を身に付け、曲想を感じ取って表現する。 | 歌詞の内容や曲想、リコーダーの特徴を生かした音楽表現をするために必要な、基礎的な技能や奏法を身に付けて表現している。 | 音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を感じ取ったり、リコーダーの特徴を捉えた音楽表現を工夫する。どのように表現するかについて思いや意図をもっている。 | 歌詞の内容や曲想、リコーダーの特徴に関心をもち、基礎的な技能や奏法を身に付けて表現する学習に主体的に取り組もうとしている。 |
| 音楽の構造と曲想との関わり ●春 ●魔王 | 4 | 物語の進行と関係する曲想の変化を感じ取り、音楽の特徴を捉えながら聴き深める。 | 曲の形式の相違や特徴と歴史的背景との関わりについて理解している。 | 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 | 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。 |
| 日本の歌曲 ●夏の思い出 ●赤とんぼ 他 | 4 | 言葉と旋律との関わりを感じ取って表現を工夫する。 | 曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。 音域や強弱に応じた発声、鼻濁音の発音などを身に付けている。 | 歌唱表現に関わる知識(曲想と形式や歌詞との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声、鼻濁音の発音など)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。 | 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。 |
| 言葉の抑揚とリズム ●身近な言葉を生かしたリズム表現 ●日本語の抑揚を生かした旋律 | 3 | 言葉のリズムやまとまりを感じ取り、イメージに合う音を選んで表現する。 | 言葉の抑揚やリズムによる音のつながり方の特徴を理解している。 歌詞の言葉の抑揚に基づいて音を選択する技能を身に付けている。 | 創作表現に関わる知識(言葉の抑揚やリズムによる音のつながり方の特徴)や技能(歌詞の言葉の抑揚に基づいて音を選択する技能)を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫している。 | 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。 |
| 日本とアジアのさまざまな表現 ●日本とアジア地域の民謡と芸能 ●六段の調べ | 4 | 日本やアジア地域の音楽の多様な表現を聴き取る。 | ・我が国やアジア地域の声による表現の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 | 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら自分なりに考え、我が国やアジア地域の表現のよさや美しさを味わって聴いている。 | 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら自分なりに考え、我が国やアジア地域の表現のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。 |

| | | | | | |
|--|-----------|-------------------------------------|---|--|--|
| <p>混声合唱の響きと表現 ●合唱コンクール課題曲・自由曲他</p> | <p>14</p> | <p>曲想や声部の役割を感じ取り、それらを生かした表現をしよう</p> | <p>曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。</p> | <p>歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。</p> | <p>歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p> |
| | <p>45</p> | | | | |